新総合計画の策定はじめる

7月下旬、住民アンケート調査実施

村はこのほど、21世紀（昭和75年）を目標とした新しい横越村の将来像を構想し、地域振興、行政運営の指針となる新総合計画を策定することになり、原案作成するにあたって、住民の意向を反映させていくために、7月下旬にアンケート調査を行いました。

横越のメーンストリート15年後には果して……

村の総合計画は これまで第一次総合計画が昭和四十七年に、次いで現在実効している第二次総合計画があります。

新総合計画を策定することになったのは、第二次総合計画が昭和六十年度で計画期間が終ること。国で行政改革が進められ、地方でもその対応が迫られていること。一方、本村に直接係わる課題として、役場庁舎の建設、市街化区域指定の見直し、県住宅供給公社団地の進出、国道四十九号線バイパス、阿賀大橋人口の増加など新しい対応が生じてきたためです。

策定作業は、昭和五十九年十二月議会で新総合計画の議決を目標にすすめられ、この間、住民アンケート調査、住民との対話集会を開催して住民の考え方を把握していくほか、総合計画審議会に諮問し答申を得ることとしています

ところで、七月下旬実施した住民アンケート調査は、有権者の一〇%にあたる六四〇人余を対象にして行われ、住民の生活実態、住民の行政需要、自治意識、村の将来像など二十一項目にわたる調査内容で、特徴的なものは、市街化区域の拡大、横越村の町制施行について住民の考え方を質問しています。

現在、アンケート調査の集計作業をすすめており、結果がで次第、本紙でも紹介いたします。

県住宅供給公社
横越団地の埋立工事着手

県住宅供給公社の横越団地埋立工事が七月からはじまり五十九年度分譲にむけ、本格的に工事がすすめられました

横越団地は、阿賀野川浄水場隣り約二㌶、六十七区（一区画平均二四一平方㍍）を下水道施設を整備して建て売り（一部宅地）分譲するもの。

埋立て工事は、十月いっぱい行われ、一一㌧ダンプで一日平均一五台、五往復の土砂が運搬されています。

このため、住宅供給公社では「交通事故対策、飛砂防止、防塵対策など万全を期す。村民の方から特段のご理解、ご協力を願いたい」と話していました。

埋立てがすすむ横越団地

8月18日
納涼カラオケ 盆踊大会

- 日時　8月18日夜
  - 7時～8時30分　カラオケ大会
  - 8時30分～10時　盆おどり大会
- 場所　農協本所前

主催　横越村農協
農協婦人部
有線放送協会

新総合計画アンケート調査の内容

ここで紹介するアンケート調査の質問内容は、二十一項目の中から住民の行政需要、村の将来像に関するものの一部を抜すいしたものです。

新総合計画策定についてみなさんの建設的なご意見、ご要望をお寄せください。

連絡先、役場企画調整課
電話（公）二一一一番
（有）五一二二番

質問　あなたは、横越村で自慢するとしたらどれですか。二つだけあげてください。

1. 緑豊かな田園風景。
2. 阿賀野川の清流と鮭・ます
3. 縦横に走る国・県道・整備された村道。
4. 北方文化博物館。
5. 教育村。
6. 長いも・チューリップ・梨の産地。
7. 社会学者建部遯吾、民俗学者小林存の生地。
8. 県下有数のパン工場。
9. 旧県庁舎でつくられたゴシック風の役場庁舎。
10. 曹洞宗修業僧寺の名刹大栄寺。
11. 純朴な村民性。
12. その他。

（次のページにつづく）

婦人会で生活学校開く

生活慣習の改善など
地域ぐるみの運動を展開

村連合婦人会（会長・佐久間　順）では、このほど、あしたの新潟県を創る運動協会と村の補助金をうけて、三カ年事業で生活学校を開設することになりました。

現在、開講の準備がすすめられ、八月中から、公民館や農村環境改善センターで開かれる予定です。

この生活学校は、婦人たちが暮らしや地域の疑問、問題点を共同して、調査、研究し住みよい地域社会づくりの運動をすすめていくもので、婦人会では、会員の中から受講希望者を五〇人程度募り、病気見舞の返礼、冠婚葬祭などの生活慣習の改善、消費生活の対応や省エネなどの生活点検を主テーマに学習したり、調査、研究して、地域の実情を把握。また対話集会を開催するなどして、解決策を明らかにして、啓蒙活動や地域ぐるみの実践運動を展開していくとしています。

生活学校は本村では新しいこころみであり、今後の活動が期待されます。

村では昔からクイアイという習しがあると聴きました。これは隣り近所の人達が何かあったとき助け合い、協力し合うことの集りだそうです。このお話しをある会議の席上に話題にしたら、他の部落では

求められている コミュニティ

最近、よくテレビや、新聞などに、コミュニティというききなれない言葉が使われるようになりました。この意味がよくわからないまま、流行語かコマーシャル語位にしか、うけとめられてはいないでしょうか。無理なカタカナ語を使わないで、立派な日本語があるのですから、これを使えばよいのではないかという人もいます。

そこで辞典を調べて見ると〝近隣社会〟とか、〝地域社会〟と訳すそうです。ところが私達の日常語で地域社会などという言葉はあまり使われていないので、かえってわかりづらい。

「住み良い地域社会をつくるために他人まかせでなく、自ら行動して問題を解決してゆく連帯感のある人々の集まり」と定義する人がいます。コミュニティなどの言葉を使わなくともよかった時代もあったのですが、高度経済成長後、職業の多様化、生活様式の多様化で、新しい形の地域社会の接し方が求められるようになったからでしょう。

少し話は変りますが、横越〝勝手〟という制度と同じなのではないかとの意見でありました。

これなどは今風にいうならばコミュニティの源流で、先人の生活の知恵から生れ育ったものと思われます。

前述の定義からコミュニティの目的は、〝人間的なふれあいの促進と地域課題の解決〟である。これ程ピッタシなのは他にないのではなかろうか。

近年、横越の新しい居住者間でも、このクイアイが育ち始めているとのことですが、大変よろこばしいことと思います。

そろそろ盆踊りや、お祭りの季節で、各地区の広場で趣向を凝らして催されることになろう。コミュニティとしての意識を盛り上げるには、うってつけの行事です。大いに参加の輪を広げたいものです。

（中川）

能代川分流が完成

7月22日から通水

新津市大関から下興野に至る能代川分流工事がこのほど完成し、七月二十二日から暫定通水がされました。

これによって、豪雨時には最大流量毎秒四〇〇㌧の水が小阿賀野川に注ぎ込むことになります。

将来、分流改修工事は上流部にもおよび、最終的には川床を更に下げ、毎秒一二〇〇㌧の流量が計画されており、小阿賀沿線の木津、二本木地区から洪水が心配の声も聞かれ、村では、関係機関に対して、小阿賀堤防の改修を働きかけているところです。

行方不明の人を捜す相談所（無料）を開設

新潟中央署で

警察では八月一日から一カ月間、家族や知人が家出をした。外出をしたまま、行方がわからない。出稼先から便りがとだえたなどで、消息が知れず困っている方の相談所を次のとおり開きます。お気軽にご利用ください。

相談においでの際は、なるべく本人の写真や、資料（身体、服装、所持品などの特徴）をご持参ください。

日時　八月一日から三十一日まで
平日　午前九時から午後五時
土曜日　午前九時から午後〇時三十分

場所　新潟中央警察署四階
電話（〇二五二）二一二一二一番

質問　あなたは、将来、横越村はどんな村をめざせばよいと思いますか。一つだけあげてください。

1. 農業を中心とした純農村。
2. 商業や工場が盛んな村。
3. 新潟市などの都市衛星的なベッドタウンの村。
4. 文化施設や教育施設が整備された村。
5. 自然や文化財を生かした観光を中心とした村。
6. その他。

質問　あなたは、村から特に力を入れてほしいことはどんなことですか。各項目から一つずつあげてください。

【生活環境】
1. 国・県道の整備や村道の舗装を進める。
2. 側溝、下水道の整備を進める。
3. 都市ガス事業を進める。
4. 公園の整備や緑化を進める
5. 住宅団地の造成を進める。
6. その他。

【福祉・健康】
1. 保育所の新・改築を行う。
2. 老人いこいの家など村民の憩の施設を建設する。
3. 恵まれない人やお年寄り対策を更に進める。
4. 定期健康検診の充実、保健指導活動を高める。
5. 医療施設の誘致をはかる。
6. 保健センターを建設する。
7. その他。

【農業・商工業】
1. 農業基盤整備を進める。

（次のページにつづく）